

DD NEWSLETTER

NO. 5

The Center for Southeast Asian Studies

Kyoto University

1983. 7. 9

DD村研究チームの各位

武邑：宮崎組の新たに加わった⁵日月、7月⁹日 日替りの
DD村通況をお知らせします。

6月26, 27両日にわたる台風（お水）の降らした大雨のおかげで
DD村では 春に農繁期に入りました。水田では 苗代つり、耕起、
代掻、苗つり、苗蒔き、田植え（但し 低地の水田のみ）に忙しい。
水田では オヤシバの植込み、除草、菜園では 相かわらば トリカケシの
灌水、肥料、摘採りなど、村人にとりては 朝は朝星、夜は夜星を
~~終る~~ 野良道の生活が始まりました。







雨期に入ったとはいえ、この時期特有のアブラ照りのバカ暑は
一向に衰えず、野良に出ても 家に居ても この暑さの熱さに 相当の
体力と意志を要します。

本日のチームでの村への行事は やり終ったので、各人各様のやり方で
親しい村人達の旧交を暖めつつ 過ごして頂きます。

さて、農考班は 6月20日に入村、視察準備などを1週間程で
済ませ、今日からの軌道に乗ってきました。皇川・宮川、Wiset、
Jomkiat、Uthit は 5時半起床、6時前には 野良に出る。村人達
の生活を追いかけて毎日です。これは 現場で見、聞か、問ひ、確認す
る原則のルールの調査を行います。この 農業技術と農作作業
の各単位の調査計画（苗代つりから 水管理、耕起、代掻、田植え迄
の農法と労働能力など）はこれからです。前身の全等調査を
この中で進めたいです。

Nong Limban 近くの ^{田舎} 遊2-2に 調査した 11 戸に 生計に 貴重な 余裕
の おかたです。

社会科の 武邑 宮崎 林, Songsil. Warida (2人は 作物学 ^{女子} の ~~学生~~ 学生) の 5人組と同様に, 従明の Nong Limban を 中心, 行きの
ほたりに 人を つかまえては, 田舎で 教習 して (前) の 方法に より, 生計 (生活) の
調査を (前) 始 (り) した。基礎調査から (お) (お) (お) (お) (お) の 調査は
どの時期を 選 (び) したか, どの 現像の 状態から, どの 手段の 早 (い) 判断
したか ありす。 ^{この} 田舎の 軌道に 乗 (り) 込 (め) る 従 (来) の 野 (山) 式 (に) 依 (り) 検 (査) 法
へ (を) 物 (件) 行 (い) じ (た) ありす。 但し 詳細調査の 方法 以下の 5 家 (族)
を 描 (き) 出 (し) 従 (来) の 通 (り) の 方 (法) に (よ) り, 田 (舎) の あり (か) ら 実 (地) に (お) (お)
見 (て) 取 (り) ます。

1. House No. 2 (Per. No. 1) 
2. House No. 156 (Per. No. 44) 

3. House No. 57 (Per. No. 72) 
4. House No. 106 (Per. ^{No.} 174) 
5. House No. 31 (Per. No. 42) 

() 内の 割合 %。 地主の 田舎 割合を 計算 (し) ます。

田舎の 農業 経営 調査の 以上の 1% 調査と して coordinate (お) (お) の
生計 (生活) 割合を 算 (出) します。

この頃 海田は 本郷で DD を行ったり来たりの (即ち 5 往復) で、DD への
方任事 かの こと あり あり、大抵は 雑用 と して、仰内達の 計画
の 良く 之は encourage して、其の言と 之は 之を つけたり とい

第 1 次

の 1 次 第 2 次

(D) の 変更、村 長 及び 変更 等 について、皆 様 様 来 見 での
(水) での

集 (水) 及び、2 例 に なる 状況 を 示 した (水)。一つは 村 長

の 名 義 出 立 こと。去 年 6 月 28 日、村 長 及び 半 村 長 等 水 上

に あり 終 了 した。各 村 長 (水) 及び、彼 の 行政 面 での
諸 公 事 等 及び 各 村 長 の 及 び 感 謝 等 あり。一つは 限 界 に 達 した こと 示 した (水)。

一つは 水 上 防 護 の あり あり 工事。大 水 災 時 水 上 防 護 の 建設、村 内 道 路

改 修 等 公 共 事 業 の 続 行 あり。水 上 防 護 等 への 彼 の 村 長 及び

村 長 公 事 等 示 した あり あり。次 期 村 長 選 挙 日 第 15 日 頃

、最 有力 候 補 には Phaeng Chomsida (水) 村 長 (Phaeng Chomsida) の 氏 名 確 定 視 され あり。他に 水 上

防 護 等 及び 水 上 防 護 等 あり あり。一つは 水 上 防 護 等 あり あり。

DD 第 2 次 第 2 次 (水) の 建設 あり、水 上 防 護 等 あり あり。

(水) 旧 村 長 及び 後 任 等 あり あり。

一つは 水 上 防 護 等 あり あり。一つは 村 長 電 線 等 あり (500m)、

水 上 防 護 等 あり あり。一つは 前 々 から 續 行 あり あり。一つは 村 長 の 選 挙

等 あり あり。一つは 水 上 防 護 等 あり あり。一つは 水 上 防 護 等 あり あり。

一つは 水 上 防 護 等 あり あり。一つは 水 上 防 護 等 あり あり。一つは 水 上 防 護 等 あり あり。

マツイの儀式をやり行なったという次第です。

7月24日はカヌー（入宿）で、お祭りには、例年と違って、大抵
相席の役割を行使して村に期待されている。お祭り^{の村}の^村に^入
最大にお祭りにはお祭りには、お祭りにはお祭りにはお祭りには。
盛大に

お祭りにはお祭りにはお祭りには

1983 7. 10

お祭りにはお祭りには

お祭りにはお祭りには

〔5-2〕 日程変更など

8/1-9/30の予定であった星野敏君は、眼の手術のため入院中。回復の様子次第で改めて日程を考えるが、今の所、11,12月の2ヶ月になると思われる。

医学部の翠川君は、10/3-12/26の予定で参加すると書きましか(4-4)、その後、野向氏らとの打合せの結果、野向氏のDO滞留在中(8/15-10/1)に重なるよう、9月中に末村の予定。医学チームとの窓口は、今後、主に同氏になる見込み。(野向)

〔5-3〕 国内旅費について

科研費(海外)の交付申請書にありますように、星川、宮川、黒田、武世の諸氏については、京都までの旅費(1泊2回、各2回、但し、宮川氏のみは2泊3日2回)が準備されていきます。会議などなくとも使えますから、早目に消化して下さい。なお、次回の本体会議は、おおよそ(明年)2月になると思われます。

が、その際の旅費は別途用意が必要と思われます。(手続は石井先生へ)

[5-4] 今後のDDNLの発行

5 福井は予定通り7/24に出発します。以後の編集は、主にDD村で行ないますが、コピー、配布は服部・松藤両氏にお任せするつもりです。

10 [5-5] 「粗い」に関連して

Marginal と言う限りは、coreが何処かにあつて、両者の向に政治的、経済的、文化的な何らかの関係がなければならぬ。東北夕

15 イを Marginal とし、Bangkok を core とした場合、このことは言えるであろう。しかし、トンキン流石を core とし、コンヤンを marginal とする場合は、両者向には何人も関係がなかったのではないか。単に、コンヤンの自然条件

20 が "core" に較べるとより劣悪であり、移民の方

向が前者から後者へ変わったと言うだけではないか。その中で marginal と…というか…知るか…か、その言葉の内容は、Bangkok-東北の関係を示す core-marginal とは、随分と違
 った意味に与らざるをえない。(CSEAS 桜井
 氏の意見)

marginal と言うべき、core の関連をその
 ほか考へておくべき。自給自足的経済の
 ために外延的拡大が起り、より marginal となる
 ことは居住空間が拡がる現象は、熱帯地方の今
 日の課題として中心である。DD
 の置かれた自然、人文的環境は、発展
 途上国の一例外的環境ではない。このような
 村を取上げたことは、今日の発展途上国問題
 の中心に直にせざるを得ない。(CSEAS
 評内氏の意見)

「二重の marginality」という枠組で、DD
 調査をまとめようとはどうお考えなのか
 「狙い」の狙いがあった。その以前の問いに
 ついて以下に一言。

DD 調査に期待されることは、短かく言え
 ば、アジア稲作圏の村落とは、典型的にはこの
 ようなものである。このような変化を遂げ
 つつあるのかを、ここでは鮮明なイター
 5 を描くよう提示するところがある。アジ
 アの農村社会について、古来の一般の人達
 のイターを：あるものに形成したの
 は何か？ マルクスの「アジ
 ア的生産様式」か、ウイット
 フォーデルの「Oriental Despotism」か、
 10 2ルフェールの「隠蔽したインド
 農村社会」か、Greenhalgh
 の「Agricultural Involutions」か？
 これらは、必ずしも実証的
 15 には知らない。あることは、アジ
 アの農村のあり方がこの^{のみ}に
 該当するイター
 かを知らない。DD 調査は、
 これらの Grand
 theory (?) に対して何を
 20 言わなければならないのか？
 アジ
 アの稲作農村調査の事例研究も
 少なくない。これは何を示す
 20 ことができるのか。人口増
 加、階層分化、土地の
 農民の増加、地主・
 小作関係の緊張、土地の
 細分、近代化の影響、

